

災害対策用機械の バックホウ簡易遠隔操縦装置を紹介しました ～バックホウの遠隔操縦体験を実施～

令和3年7月1,2日に開催された「インフラメンテナンス国民会議」において、「簡易遠隔操縦装置」を設置したバックホウ、「対策本部車」及び近畿インフラDX推進センターのパネルを展示しました。また、ブース来場者のうち、約100名の方にバックホウ遠隔操縦を体験して頂きました。

インフラメンテナンス国民会議

○日時：令和3年7月1日・2日 ○ブース来場者：約150名

○場所：花博記念公園鶴見緑地 ○来場者のうちバックホウ遠隔操縦体験者：約100名

バックホウ遠隔操縦体験



簡易遠隔操縦装置設置状況



近畿インフラDX推進センターの紹介



対策本部車よりバックホウ遠隔操縦



お子さんたちも操縦体験



来場者の声

- 一般のバックホウに数時間で取付けられるため、汎用性があり、災害復旧支援時に有効であると感じました。
- 危ない場所での作業内容の幅が広がり、安全性及び作業性の向上につながると感じました。同時に、操縦についての安全の講習も大切だと思いました。
- 子供が体験させてもらい楽しんでいました。昨年もよろこんでいたので来られて良かったです。来年もまた来ます。

